

埼玉版SDGsの推進について

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの協働を通じ、ワンチーム埼玉でSDGsを推進しています。



令和3年度「SDGs未来都市」に選定



SDGs未来都市とは

- 自治体におけるSDGs達成に向けた取組を推進するために、平成30年度に創設された国が選定する制度。
- 経済・社会・環境の三側面における持続可能な開発目標を実現するポテンシャルが高い都市地域が選定。
- 埼玉県は令和3年5月21日に選定。

※累計124都市が選定

(都道府県では14道府県)



SDGs未来都市



埼玉県

県が使用する
埼玉版SDGsのロゴ



次期「埼玉県5か年計画（令和4～8年度）」での位置付け

4 将来像の実現に向けた基本姿勢

2040年を見据えて、次の2点を計画の基本姿勢として掲げ、全施策を貫く横断的な視点として反映します。



① 埼玉版SDGsの推進

本県が目指す「日本一暮らしやすい埼玉」とは、「あらゆる人に興味が湧き、活躍でき、安心して暮らせる社会」です。

これは、「誰一人取り残さない」ことを掲げるSDGs*の基本理念に通じるものです。

SDGsとは、平成27年（2015年）の国連サミットにおいて加盟国（193か国）の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた、誰一人取り残さない持続可能な世界を2030年までに実現するための国際目標です。

SDGsの達成に向けては、一つの分野だけでなく、経済、社会、環境の三側面全てをバランス良く達成していく「三方よし」を意識することが重要です。

そのため、本県では各分野の所管部局が個別に施策を進めるのではなく、縦横断的に全庁が一丸となってSDGsの視点で施策の展開を図ります。

また、行政だけでなく県民、企業など民間主体も巻き込んで、SDGsの理念を広く浸透させるとともに好事例を模範とするなど、全県的な推進体制を構築します。

誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指し、全施策にSDGsの基本理念やゴールをリンクさせ、「ワンチーム埼玉」で推進していきます。

持続可能な世界を実現するための17のゴール



- 目標1 貧困をなくそう
- 目標2 飢餓をゼロに
- 目標3 すべての人に健康と福祉を
- 目標4 質の高い教育をみんなに
- 目標5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標8 働きがい、経済成長を
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10 人や国の不平等をなくそう
- 目標11 住み続けられるまちづくりを
- 目標12 つくる責任、つかう責任
- 目標13 気候変動に具体的な対策を
- 目標14 海の豊かさを守ろう
- 目標15 陸の豊かさを守ろう
- 目標16 平和と公正をすべての人に
- 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

県の最上位計画である「5か年計画」の基本姿勢としてSDGsを掲げ、全施策を貫く横断的な視点として反映。
(県議会令和3年12月定例会で可決)

2 12の針路と54の分野別施策



■針路1 災害・危機に強い埼玉の構築

背景

本県に記録的な大雨と被害をもたらした令和元年東日本台風など、近年、



施策 36 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上

担当部局 企画財政部、総務部、県民生活部、県土整備部、警察本部

施策内容

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として生活や働き方が大きく変化する中、行政サービスのデジタル化は急務となっています。また、今後本県は少子高齢化をは

3 将来像の実現に向けた基本姿勢(施策編)

「第1編 総論」の「4 将来像の実現に向けた基本姿勢」に掲げた2つの基本姿勢について、施策への反映状況を分かりやすく整理しました。

① 埼玉版SDGsの推進

本編「2 12の針路と54の分野別施策」の54施策と、SDGs*の17ゴールとの関連を整理しました。さらに、54施策の中から特にSDGsの達成につながる主な取組を、17ゴールごとに示しました。



針路1 安	1 危機管理・防災体制の再構築	☺	☺	☺	☺
	2 大地震に備えたまちづくり	☺	☺	☺	☺
	3 治水・治山対策の推進	☺	☺	☺	☺
	4 感染症対策の強化	☺	☺	●	☺
	5 防犯対策の推進と捜査活動の強化	☺	☺	●	☺

「埼玉県SDGsパートナー」登録制度

- SDGsに自ら取り組むとともに、県と連携してSDGsを普及する企業・団体等を『埼玉県SDGsパートナー』として登録する制度を令和2年11月に創設
- 登録要件は、県内に事業所を有する企業・団体等で要件①②をクリアすること

要件①

■三側面について重点的な取組及び指標を設定し宣言すること

SDGs達成に向けた企業・団体等の取組方針を宣言し、「**環境・社会・経済**」の三側面について重点的な取組及び指標を設定

要件②

■SDGs達成に向けた基本的な取組を行うこと

持続可能な活動のために基本的に取り組むべき6分野※について、企業・団体等が取り組むことを記載

※①人権・労働、②環境、③公正な事業慣行、④製品・サービス、⑤社会貢献・地域貢献、⑥組織体制

■登録企業・団体等のメリット

- ・ SDGsに取り組んでいる「あかし」として企業価値が向上
- ・ 登録企業・団体等には登録証付与
- ・ パートナー専用のロゴマークが使用可能
- ・ 県HPなどにより取組事例とSDGsへの貢献を広く発信
- ・ 県制度融資における優遇
- ・ 大野知事からの激励動画を送付



埼玉県
ONE TEAM SAITAMA
SDGsパートナー



第1～5期で **636者** を登録
(R4.3月末予定)。



SDGs 未来都市
埼玉県

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

- 令和2年9月1日、ワンチーム埼玉でSDGsを推進するため、産学官金等で構成する『埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム』を設置
- シンポジウム等によるSDGs普及、県が取り組む重点テーマへの協力、『埼玉県SDGsパートナー登録制度』の普及、SDGsに関する情報発信・情報共有、SDGsに関する企業・団体間連携の推進等を実施
- 埼玉版SDGsを推進するという目的に賛同し事業に協力する企業・団体等が随時入会可能

■プラットフォームの活動内容

- * SDGsの普及・啓発（シンポジウム開催等）
- * 会員間の情報共有
- * 個別テーマを検討する分科会の開催
- * SDGs活動の促進に向けた方策の検討 等

■プラットフォーム会員

- ・ 県内経済団体
- ・ 県内金融機関
- ・ 県内関係企業
- ・ 県内自治体
- ・ 県内大学
- ・ メディア
- ・ 団体等
- ・ 国関係機関 等

889者

(R4. 2月末現在)

随時入会可能

■プラットフォーム 令和3年度シンポジウム開催結果

- | | | |
|-----|----|--|
| 第2回 | 日時 | 令和3年5月28日（金）15:00～16:15 |
| | 会場 | オンライン開催（93アクセス） |
| | 内容 | ・ SDGs先進取組企業事例発表
・ 重点テーマ分科会検討部会テーマについて
・ 県からのお知らせ |
| 第3回 | 日時 | 令和4年2月3日（木）13:00～15:00 |
| | 会場 | オンライン開催（136アクセス） |
| | 内容 | ・ 基調講演「ポストコロナに企業がSDGsに取り組む意義」
渡辺珠子氏（株）日本総研創発戦略センタースポンサリスト
・ 重点テーマ分科会検討部会成果発表について
・ 県からのお知らせ |

重点テーマの事業検討について

令和2年度

部局横断型のワーキングチームで事業検討を実施



令和3年度

事業・課題検討について「官民連携プラットフォーム分科会」で実施

埼玉版SDGs重点テーマ

① 「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」分科会(令和3年4月設置)

埼玉版SDGs重点テーマ

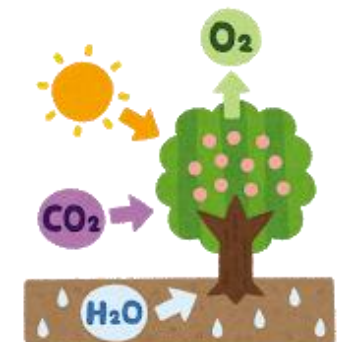
② 「未来を創る人材への投資」分科会(令和3年4月設置)

- 分科会において検討する事業・課題を募集(県、企業・団体等)
- 応募のあった事業についてマッチングし、官民連携で事業検討

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会

分科会に以下の4つの部会を設置。

- ① プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会
- ② 水辺空間及び都市公園等の持続可能な利活用に関する検討部会
- ③ 里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会
- ④ カーボンニュートラルの実現に向けた検討部会



「未来を創る人材への投資」分科会

分科会に以下の4つの部会を設置。

①子供の自ら学ぶ力の育成に関する検討部会

②皆にチャンスがある社会の実現に向けた検討部会

③多様性・多文化理解の促進に関する検討部会

④地域社会の担い手の育成に関する検討部会



埼玉版SDGs推進アプリ『S3(エスキューブ)』



動画やテキスト・クイズなどでSDGsを楽しく理解できるアプリ

“SDGsを **学んで** **感じて** **ポイントGET**”

3,109ダウンロード(令和4年2月末現在)

令和3年
11月1日
リリース



ポイント付与メニュー	
毎日SDGsチェック	10P
SDGsクイズ	10P
動画を見る	10P
コラムを読む	30P
イベントに参加する	50P
アンケートに答える	50P~
アプリを紹介する	10P~



ポイント付与メニューのうち「動画を見る」「イベントの参加する」では

県庁内各課所の情報を発信できます。

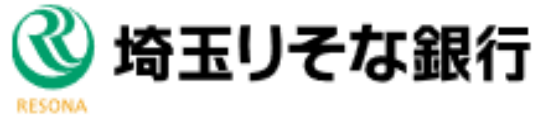
是非、PRに御活用ください。

(※問合せは計画調整課まで)



埼玉版 ESG金融①

SDGsに取り組む企業を金融面からも官民連携で支援



ESG目標設定特約付融資「Try Now」

(令和3年10月1日取扱開始)

「埼玉県SDGsパートナー」登録制度及び登録維持を
ESG目標の一つとしており、目標達成により金利を優遇

【イメージ図】



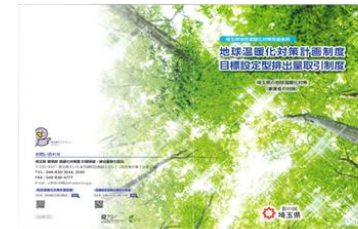
SDGs 未来都市
埼玉県



「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」

(令和3年9月30日取扱開始)

挑戦目標(SPTs)の設定にSDGsの達成に資する県の制度
目標等を積極的に活用し、目標達成と金利の引下げ等の融資
条件を連動



※埼玉県様との連携について
挑戦目標(SPTs)の設定に当たっては、SDGsの達成に資する県の制度目標(「地球温暖化対策計画制度」におけるCO2排出量削減目標)等を積極的に活用。
また、「埼玉県SDGsパートナー」への登録・活用についてもご提案を行い、お客様のSDGsの取組みに関して一層の充実・実効性向上に貢献。

埼玉版ESG金融②


SDGsに取り組む企業を金融面からも官民連携で支援


彩の国4信用金庫合同企画 「チャレンジSDGs」

(令和4年3月1日取扱開始)

県内4信用金庫が「埼玉県SDGsパートナー」制度に登録
をした方、登録申請をした方を対象に金利を優遇



まっすぐ、あなたへ。
 **埼玉縣信用金庫**
SDGsパートナー企業応援宣言

地域の皆さまと共に歩む
 **川口信用金庫**
SDGsサポートローン【GOALS】

First Call Shinkin Bank
地域一番の金融サービスを目指して
 **青木信用金庫**
埼玉版SDGs推進融資【パートナー】

ひと、まち、きずな大切に。
 **飯能信用金庫**
SDGs応援ローン

「埼玉の水とみどりを守り育む」分科会



部会名	メンバー	実施内容及び検討内容	今後の展開
水辺空間及び都市公園等の持続可能な利活用に関する検討部会	34	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大宮公園でのかいぼりを実施予定(大宮アルディージャ、氷川神社、明治安田生命等との協力体制を確立) ■ 明治安田生命がセイラビリティ越谷(ヨットの体験活動を行うNPO)に車いす利用者のためのヨット乗降用リフトを寄贈 ■ ハンノウ大学とマルキューが連携し、「筏づくりとはじめての川釣り体験」をテーマにしたリバービーチキャンパスを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 今年度検討したプロジェクト箇所の事業化 ➢ 新たなフィールドを創出 ➢ 大宮公園プロジェクト推進
プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会	109	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市町村のプラごみ分別・回収方法の検証実施(7~8月:桶川市、11~12月:上尾市、伊奈町) ■ 浦和パルコ(小売)、キムラセンイ(リサイクル)、川上産業(製造業)、県(行政)が連携し衣類の回収キャンペーン実施 ■ ホームセンター(ケーヨーD2)でプラごみ回収の実証実施 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ マテリアルリサイクルに適した品目の調査・検討 ➢ 回収地域や店舗を拡大 ➢ アライアンスによる商品化 ➢ 機運醸成と需要喚起
里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会	18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 里山を管理し、発生した間伐材などを木質バイオマスボイラーの熱源としたり、酒の原料用の香木などを植樹(ノヴァ) ■ 山主と山を利用したい人のマッチング事業展開(Akinai) ■ ハンノウ大学とノヴァが連携し、森林ワーキングホリデーのトライアルプログラムを実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域ニーズを踏まえたアイデアを実証 ➢ フィールド調査や意見交換を行う機会の創出
カーボンニュートラルの実現に向けた検討部会	23	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポイント制度を活用して県民(需要)と企業(供給)の環境配慮型による行動変容を促進させる(アイデア) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 県民の環境配慮行動促進 ➢ 企業の更なる参画促進 ➢ 広報等による機運醸成

「未来を創る人材への投資」分科会



部会名	メンバー	実施内容及び検討内容	今後の展開
子供の自ら学ぶ力の育成に関する検討部会	18	<ul style="list-style-type: none"> ■ (一社)キャリアチャレンジ総合研究所と連携し、秩父高校における3カ月の教育プログラムを実施中 ■ 高校生と企業とのマッチング企画の提案(古郡建設株) ■ 官民連携事業等の企画検討(埼玉りそな銀行) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 企業・団体等と高校生が連携・協働できる場づくり ➢ 高校生が、社会課題に取り組むプロジェクトの実施
皆にチャンスがある社会の実現に向けた検討部会	12	<ul style="list-style-type: none"> ■ 若者支援のコーディネート ■ 困窮世帯の子供向け学習支援へのICT導入 ■ 地域版こども応援ネットワークづくり ■ 地域で丸ごとヤングケアラー支援 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域のつなぎ役となる「ハブ役」の整備・拡大
多様性・多文化理解の促進に関する検討部会	10	<ul style="list-style-type: none"> ■ (独)国際交流基金と県が連携し、アジアの高校等で日本語教師のアシスタントとして活動した経験者と県内の外国人支援活動団体とのオンライン交流会を開催 ■ 埼玉りそな銀行で、県が作成したLGBTQに関するハンドブックの職員への配布やアライのステッカーの窓口掲示を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 企業等の海外ネットワークの活用 ➢ 店舗や営業所を活用した普及啓発 ➢ モデルの発信
地域社会の担い手の育成に関する検討部会	15	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会貢献を「見える化」するための情報発信 ■ SDGsに取り組む企業のインセンティブの検討 ■ 連携を求める企業やNPOなどのマッチングの機会創出 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 情報の一元化・集約化の仕組み ➢ 多様な主体の活力の活用